

## 成績評価調査願受付フォームの記入方法

### 推奨環境

Google Chrome 84 以上もしくは Mozilla Firefox79 以上

※成績評価調査願受付フォームが正常に作動しない場合は、  
上記の推奨環境をご確認ください。

# 学部】成績評価調査願受付フォーム

成績評価調査は、履修登録をした科目について、シラバスや教員から提示された成績評価基準を満たす対応を取ったにも関わらず、その評価が「D評価」・「E評価」となっており、疑義がある場合に限り受付をします（S～C評価は成績評価調査対象外）。

「評価が不合格の理由を知りたい」や「不合格になったことについて心当たりはあるが、とりあえず申請した」、「友人が単位を修得できたのに、自身が不合格であったため、申請した」等、評価の再考や現評価に至った理由の開示を教員へ依頼する制度ではありません。

「進級・卒業に必要な単位である」や「熱心に取り組んだため単位を認めてほしい」といった嘆願は成績評価調査の対象ではありません。

## 1. 学生証番号

※大文字半角英数字にて入力ください。

## 2. 氏名

## 3. 連絡先（携帯電話番号）

※成績評価調査の結果は入力した携帯電話、もしくは大学が付与したメールアドレス宛に連絡します。

## 4. 連絡先（メールアドレス）

※申請内容の確認メールが送信されます。必ず、大学が付与したメールアドレスを入力ください。

## 5. 学部・学科・学年・クラス（組）

## 5. 学部・学科・学年・クラス（組）

学部： 学部

学科： 学科

学年： 年

クラス（組）： 組

申請にあたって、下記項目の確認が必須となります。各項目をよく読み、確認を終えたらを記入してください。すべての項目にがなければ申請することができません。

情報システム上にてWEB履修登録（本登録）している科目のみ調査対象となります。学習支援システム上の登録のみの場合は調査対象となりませんのでご注意ください。「履修登録科目確認通知書」にて、申請を

**それぞれ、ご自身の情報を正しく入力してください。**

一度申請した内容に加筆・修正がある場合は、再度申請を行ってください。成績評価調査期間内において、最も新しい申請を受け付けます。

入力に誤りがある場合、申請は無効となります。

虚偽の申請をした場合は、学則に基づく処分の対象（譴責、停学、退学）になる場合があります。

## 6. 添付資料

6-1. 成績通知書 (PDF)

選択されています

6-2. 履修登録科目確認通知書 (PDF)

選択されていません

**添付資料は、あらかじめ  
情報システムからダウンロード  
の上、アップロードしてください。**



## 11. 授業主催学部

※該当科目のシラバスの「学部・研究科」から転記してください。

## 12. 成績評価の方法と基準 (Grading criteria)

※該当科目のシラバスの「成績評価の方法と基準 / Grading criteria」から転記してください。学習支援システムで成績評価方法と基準の変更があった場合は併せて記載してください。

## 13. 出席状況

例：欠席○回，欠席

成績評価を選択すると、  
調査依頼理由が入力できます。

## 14. 成績評価

※「成績通知書」を参照の上、選択してください。

※入力に誤りがある場合、申請は無効となります。

送信

正しく入力できたか確認の上、送信してください。

The screenshot shows a course page with the following content:

- Header: 人間環境学への招待 / Invitation to Humanistic Environmentalism, 人間環境学部教員
- Course Code: C2600
- Department/Research Institute: 人間環境学部 (highlighted with a red box)
- Category: リテラシー科目, フレッシュマン科目
- Category (2018年度): 春学期授業/Spring
- Unit: 2
- Schedule: 水1/Wed.1
- Campus: 市ヶ谷
- Registration: 1・2
- Subject: グローバル・オープン科目
- Faculty: 実務経験のある教員による授業科目

Course Description:

- 授業の概要と目的 (何を学ぶか) / Outline and objectives**  
「持続可能な社会」に向けた実践的な学びを通して人間環境学部の学びの概要と、人間環境学部における学びの基幹となる姿勢・視点を伝えること。
- 到達目標 / Goal**  
「持続可能な社会」に係る多様な問題のメカニズムに関する知見を獲得しながら、実践的な解決策を提案する、人間環境学部の学びのあり方を習得するための基本的な姿勢を身につける。  
人間環境学部における勉学の方向づけ (カリキュラム構成・コース制・研究会など学部の特色の理解)、人間環境学部における「専門性」(既存の学問分野の成果を活かしながら、分野の枠を超える総合的・学際的な思考) について、各コース科目を担当する教員の履修を通して理解する。  
多様な学問分野やアプローチ方法を学ぶ中で、自分の関心を明確にし、以後の本学部でのコース選択・科目選択のガイドとなる情報を得る。
- 【この授業を履修することで学部等のディプロマポリシーに示されたどの能力を習得することができるか (該当授業科目と学位授与方針に明示された学習成果との関連) / Which item of the diploma policy will be obtained by taking this class?】**  
ディプロマポリシーのうち、「DP2」に関連
- 【授業の進め方と方法 / Method(s)】** (2020年度はオンライン授業の実施に伴い、変更の可能性がありますが、変更は学習支援システムで提示します。/Method(s) may change depending on the online lesson.Changes will be reflected in the Learning Management System.)  
●追記 春学期の少なくとも前半はオンラインで開講する。それにとりまう各回の授業計画の変更については、学習支援システムでその都度提示する。本授業の開始日は4月22日とし、この日までに具体的なオンライン授業の方法などを、学習支援システムで提示する。  
〜〜以下は当初記述  
学部の専門カリキュラムの構成とそのねらい、教育システムの特色などについて説明を行う。次に、大学生としての学びの作法について、その基本を学ぶ。その後、オムニバス形式 (複数教員による講義) により、持続可能な社会を考えるためのさまざまなテーマに関して、多様な学問的アプローチから学ぶことの重要性を具体的に学ぶ。なお、以下の【授業計画】の詳細については開講時に資料を配付し説明する。
- 【アクティブラーニング (グループディスカッション、ディベート等) の実施 / Active learning in class (Group discussion, Debate, etc.)】**  
あり / Yes
- 【フィールドワーク (学外での実習等) の実施 / Fieldwork in class】**  
なし / No
- 【授業時間外の学習 (準備学習・復習・宿題等) / Work to be done outside of class (preparation, etc.)】**  
毎回の講義で紹介される資料等を使用して予習・復習をする。  
次回授業の予告を行うので、関連文献・資料を読んだうえで出席する。  
本授業の準備学習・復習時間は、各2時間を標準とする。
- 【テキスト (教科書) / Textbooks】**  
資料を適宜配布して使用する。
- 【参考書 / References】**  
小島・西城戸編著、2012、『フィールドから見る地域環境 - 持続可能な地域社会をめざして -』、ミネルヴァ書房、290p。  
その他にも、各回講義において、担当教員より関連する文献を紹介する。
- 【成績評価の方法と基準 / Grading criteria】**  
●追記 春学期の少なくとも前半をオンラインで開講することにもない、成績評価の方法と基準も変更する。具体的な方法と基準は、学習支援システムで提示する。  
〜〜以下は当初記述  
平常点 (課題レポートの提出など) 40%、期末試験60%、で総合的に成績評価を行う。
- 【学生の意見等からの気づき / Changes following student comments】**  
非実施科目につき該当なし。この科目独自のアンケートを実施する。
- 【その他の重要事項 / Others】**  
A~Fクラスは水曜1時限目に、G~Lクラスは水曜2時限目に登録・履修すること (再履修者・編入者も自分のクラスの授業

Bottom text: 本科目は、「実務経験のある教員による授業」に該当しません。